

常任委員会における審査の主な内容

総務委員会 木鉢地区ふれあいセンター施設整備に係る令和5年度一般会計補正予算（第8号）を可決

木鉢地区ふれあいセンター昇降機設置工事において、昇降機メーカーの技術者が不足し、確保が困難となっていることから、工事が年度内に完了しない見込みであるため、ふれあいセンター施設整備事業費に係る繰越明許費が計上されました。

委員会では、今後、物価高騰などによって、材料費や工事費が高騰した場合の対応について質すなど、慎重に審査をしました。

その結果、部局間で工事を依頼する場合には、依頼をする所属と受ける所属の双方が自分たちの業務と認識し、説明責任を果たせるよう庁内で意思統一を図ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲木鉢地区ふれあいセンター

教育厚生委員会 (仮称) 長崎市中部学校給食センターの整備運営に係る契約議案を可決

第140号議案「(仮称) 長崎市中部学校給食センター整備運営事業に係る契約の締結について」は、旧川平小学校跡地において、令和8年9月から中部地区の学校給食センターの供用開始を目指そうとするものです。

委員会では、受注者に不測の事態が発生した場合のバックアップ体制について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、複数の学校給食センターの運営を同一の企業に委ねることは、リスク分散を考えていく上で問題がある、子どもたちに安全安心な給食を提供するための十分な施設が整っているとは言えないなどの反対意見が出されました。一方、子どもたちへの給食の安定供給に向けて、慎重で丁寧な予算執行に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

環境経済委員会 養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金に係る令和5年度一般会計補正予算（第7号）（環境経済委員会付託分）を可決

農林水産業において、橘湾で発生した赤潮による深刻な被害を受けた養殖業者に対し、県と連携してへい死した養殖魚の代替魚導入等を支援するための養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金が計上されました。

委員会では、赤潮の発生要因の分析状況と今後の具体的な対応策、養殖共済の支払い時期、代替魚導入における魚種の考え方について質すなど、慎重に

審査しました。

その結果、県・市が協力して国に対する要望活動を行い、養殖業者が事業を継続できるよう支援を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲橘湾の養殖筏の様子

建設水道委員会 スマートバス停の整備支援に係る都市交通対策事業費や長崎稲佐山スロープカーの運営業務に係る公園等維持管理費など、令和5年度一般会計補正予算（第6号）（建設水道委員会付託分）を修正可決

土木費において、バスの接近情報などの運行状況をリアルタイムで表示するスマートバス停の整備を支援するための都市交通対策事業費や、長崎稲佐山スロープカーの運営業務における人員配置の見直しに係る経費を増額するための公園等維持管理費等が計上されました。

委員会では、スマートバス停の今後の整備方針や経費の負担割合について質すとともに、稲佐山スロープカーの人員配置の見直しに係る経費が増額となった経緯等を質すなど、慎重に審査しました。

その結果、今回の補正の稲佐山スロープカーの人員配置の見直しに係る経費のうち、本市が令和4年度に支払うべきであった経費については、令和5年度に負担金という形で支出をすることによる他の施設などへの影響を考慮すると認められないとの理由により、6人の委員から連名で、予算計上された令和4年度の支払いに係る負担金1,555万4,000円を減額しようとする修正案が提出され、採決の結果、全会一致で修正可決されました。